

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

港湾振興課

1 施設の概要等

施設名	一般港湾施設(国際拠点港湾広島港、重要港湾福山港、重要港湾尾道糸崎港(機織地区))		
所在地	広島港、福山港及び尾道糸崎港(機織地区)一円		
設置目的	港湾施設の適正な利用及び管理に資する		
施設・設備	岸壁、荷捌地、保管施設、臨港交通施設、荷役機械、緑地等		
指定管理者	4期目	H31.4.1~R6.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター
	3期目	H26.4.1~H31.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター
	2期目	H21.4.1~H26.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター
	1期目	H18.4.1~H21.3.31	(株)ひろしま港湾管理センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	施設利用料	対前年度増減	対前年度増減率
	4期	R4	1,813,354千円	46,265千円
R3		1,767,089千円	158,255千円	109.8%
R2		1,608,834千円	△409,564千円	79.7%
R1		2,018,398千円	△200,050千円	91.0%
	3期平均H26~H30	2,218,448千円	△286,406千円	88.6%
	2期平均H21~H25	2,504,854千円	△622,750千円	80.1%
	1期平均H18~H20	3,127,604千円	2,683千円	100.1%
	H17(導入前)	3,124,921千円	-	-
増減理由	新型コロナウイルス感染症対策に係る使用料減免措置の終了による。			

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用者からの聞き取り	随時
	月1回の広島港港湾研究会を実施 月1回の福山港コンテナターミナル管理運営調整会議	国土交通省・県・市・施設利用者等
	【主な意見】	【その対応状況】
	老朽化した施設に対する修繕要望	利用頻度が高い施設等、整備優先度の高い施設から順次修繕を行った。
	公園利用方法について注意喚起してほしい。	県と調整し、公園利用時の注意事項を看板に掲示した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 収入個別調定依頼書、徴収計算書
	日報(必要随時)	○ 事故等について随時報告
管理運営会議(毎月)	【特記事項】 施設・設備の計画的な修繕が課題である。	
現地調査(12月実施)	【指定管理者の意見】 利用者の利便性確保のため、今後も県と連携し適切に施設の修繕を行う。高齢化した施設の増による維持・修繕・更新に係る費用の増大が懸念となっている。	
	【県の対応】 大規模修繕について、県と指定管理者の役割分担を見直す等の改善策を検討中。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	年度		金額	対前年度増減	年度	金額		対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R4	623,029		△38,471	料金収入 (決算額)	該当なし
R3			661,500	5,200				
R2			656,300	23,500				
R1			632,800	△108,185				
3期平均H26～H30		740,985	△9,934					
2期平均H21～H25		750,919	△57,717					
1期平均H18～H20		808,636	△2,710					
H17(導入前)		811,346	—					

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	623,029	661,500	△38,471	べい付いびーち坂における施設管理事務委託の坂町移管による減
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	623,029	661,500	△38,471	
	支出	人件費	100,339	88,957	11,382	サット対応、水防対応等の業務の増および職員の正社員化等による増
		光熱水費	0	0	0	
		設備等保守点検費	63,276	55,903	7,373	精算による増
		清掃・警備費等	240,299	253,417	△13,118	べい付いびーち坂における施設管理事務委託の坂町移管および精算による
		施設維持修繕費	179,930	223,064	△43,134	精算による減
		事務局費	30,814	26,641	4,173	減価償却費の増等による
		その他	1,740	2,048	△308	ガントリークレーン保険料の減
	計(B)	616,398	650,030	△33,632		
	収支①(A-B)		6,631	11,470	△4,839	
	自主事業 (※)	収入(C)	50,005	45,253	4,752	福山港のコンテナターミナルの利用面積の増による
支出(D)		49,887	44,947	4,940		
収支②(C-D)		118	306	△188		
合計収支(①+②)		6,749	11,776	△5,027		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	施設の定期的な点検を行い、老朽箇所については計画的な修繕を、緊急性の高い箇所については速やかな修繕を実施した。 施設の老朽化及び損傷が激しい施設については、県と協議し、使用禁止の措置を行うことで事故防止・安全性の確保に努めた。	施設の老朽化が進む中で、定期的な点検等により、安全性や利便性に支障を来す箇所等、計画的な修繕を実施しており、適切な維持管理に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	中長期的な効果的・効率的な維持管理を行うことを目的として、防眩材・電気防食・車止めの修繕を実施した。	
	○業務の実施による、施設の利用促進	自主事業として、施設内での自動販売機設置、海水浴シーズン中におけるBBQでの機敷設置などを実施し、施設の利用促進を図った。	指定管理業務だけでなく、自主事業の実施により、施設の利用促進に努めている。
	○施設の維持管理	利用者からの要望に対し、迅速かつ適切に対応し、施設の安全性・利便性の確保に努めた。	利用者からの要望に対して迅速に対応し、施設の安全性・利便性の確保に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	令和4年度より新港湾管理システムを運用開始し、県との情報共有を効率的に行った。 管理運営業務に係る契約・予算管理等の業務効率化を図るため、工事等契約管理システムを構築した。	岸壁にWebカメラを設置し、効率的な業務運営を図っている。
	○効率的な業務運営	岸壁に設置したWebカメラにより、バース調整や係船料徴収などの業務を効率的に行った。 平日夜間および休日におけるコールセンターの活用により、緊急時の迅速かつ適切な対応を行った。	コールセンターの活用により、利用者等からの連絡を24時間体制で受け付けており、緊急時の迅速かつ適切な対応ができた。
	○収支の適正		
総括		施設の機能を維持し信頼性・安全性を確保することを目的に定期的な点検を実施し、迅速・適切に施設の維持補修を行い、利用者の安全な施設利用を確保することができた。 また、重要施設を対象とし策定した維持管理計画を基に、適切な維持管理と必要な修繕費の確保ができた。	策定した維持管理計画に基づき、計画的に修繕を行っている。 多数の施設について、定期的な巡視点検、保守点検を適切に実施することで、計画的な維持管理及び補修に取り組んでいる。 新型コロナウイルス対策に関する業務について、県の指示に従い、適切な対応ができた。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	○高齢化した施設の増による維持・修繕・更新に係る費用の増大に対し、工法・修繕時期の見直し等を検討し、費用削減に努める。 ○工事等契約管理システムの運用を開始し、更なる業務効率化を図る。	○指定管理者からの業務見直しの提案について、必要な助言・指導を行う。 ○現地調査等を通じて、入札・契約事務及び使用料の徴収が適切に行われているかを確認するとともに、必要な助言・指導を行う。
中期的な対応	○貴重な財産であるインフラを次世代へ確実に引き継ぎ、その機能を適切に維持し続けるため、計画的な保守管理と予算執行を行う。 ○社員の更なる人材育成に取り組み、深い知識を持った社員による効果的・効率的な維持管理業務を行う。	引き続き、港湾施設の計画的な保守管理や予算執行について、必要な助言・指導を行う。